

平成 27 年救急・火災報告

平成 27 年中の松前消防署管轄内の救急・火災件数をまとめました。

救急出動 1,340 件

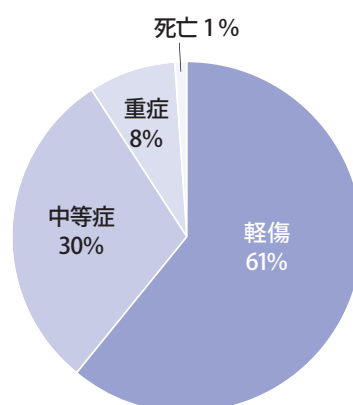
救急出動件数は1,340件でした。これを救急搬送人員(1,263人)で見ると、軽症773人(全体比61%)、中等症373人(全体比30%)、重症(全体比8%)、死亡18人(全体比1%)でした。軽症の割合が60%を超えています。

救急車の不適切利用の具体的な定義はありませんが、例えば、皆さんの家族が病院の待合室で長時間待っているときに、元気そうな人が救急車で搬送されてきたら、どんな気持ちになりますか？

そういったことを考えると、自然と不適切利用は減少すると思います。

助けられる命を守るためにも、皆さんのご協力をお願いします。

平成 27 年中の救急搬送者傷病程度の内訳



軽 傷…入院加療を必要としないもの
中等症…入院を必要とするもので重症に至らないもの
重 症…3週間以上の入院加療を必要とするもの
死 亡…診察時に死亡が確認されたもの

火災出動 8 件

火災件数は8件、火災損害額は140万6千円でした。内訳は、建物火災6件、車両火災2件。火災による死者、負傷者はいませんでした。

出火原因別でみると、放火による火災(疑い含む)が3件、枯れ草焼却による火災が1件、たばこによる火災1件、電気装置による火災が1件、電気配線などによる火災1件、その他が1件となっています。

まだまだ寒い日が続き、石油ストーブなどの暖房器具を使用する機会が多いと思います。石油ストーブを使うときは、次の点に注意して使用するようにしましょう。

●石油ストーブの使い方

- 1 カーテンやふすまなどの近くで使用しない。
- 2 ストーブの周囲には、布団、毛布や雑誌など燃えやすいものを置かない。
- 3 ストーブの上部に洗濯物を干さない。
- 4 寝るときは必ず消火し、つけたままにしない。
- 5 長時間密閉した部屋で使わず、定期的に喚起する。
- 6 給油をするときは、必ず消火をし、灯油であることを確認してから行う。
- 7 給油後は、タンクの蓋が閉まっていることを確認する。

